

教育学習支援検討特別委員会事例報告会  
「伝統的な図書館を超える図書館活動 ―学修支援の実際―」実施要項

1. 趣旨

近年大学図書館では「学修支援」が重要なキーワードとなっている。これまでも、大学における教育・研究及び学習を支援することが大学図書館の使命ではあったが、学習用の資料を充実させ、図書館利用者教育を主体とした情報リテラシー教育支援をする以上に、積極的な教育への関与を意図した「学修支援」が求められている。これは「伝統的な図書館」を超える大学図書館の新しい機能となるものである。

教育学習支援検討特別委員会では、学修支援の普遍化に資するためラーニング・コモンズの学習環境デザインに関する事例調査及び学内教育関連組織と連携した情報リテラシー教育に関する事例調査を行った。委員会の活動状況の中間報告をするとともに、イリノイ大学のリサ・ヒンクリフ氏から北米の大学図書館における学修支援の実際に関するご講演をいただき、本報告会を「大学図書館における学修支援とは何か」を考える場とし、委員会のテーマである「学修支援の普遍化」を促進する機会としたい。

2. 主催 国立大学図書館協会

3. 開催日時及び会場

平成26年2月12日（水） 13時～17時30分  
筑波大学東京キャンパス文京校舎134講義室  
情報交換会 茗溪会館（上記会場から徒歩5分）

4. 対象

国立大学図書館の経営に携わる管理者及び実務担当者等 180名（予定）

\* 公私立大学図書館の方にもご参加頂けます。ただし、席に余裕のない場合には希望に添いかねる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

5. 参加申込

参加希望者は、添付の参加申込み名簿に必要事項を記入して、送付メールの件名を「事例報告会参加申込み」としてお送りください。ご記入の内容は参加者名簿に転載しますので、正確にご記載ください。

申込先・問合せ先

名古屋大学附属図書館情報サービス課  
（教育学習支援検討特別委員会事務局）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
E-mail event@nul.nagoya-u.ac.jp (参加申込先)  
TEL 052-789-3684 FAX 052-789-3694

申込期限 平成 26 年 2 月 3 日 (月)

開催当日の連絡先

筑波大学大塚図書館 TEL 03-3942-7381

## 6. プログラム

別紙『教育学習支援検討特別委員会事例報告会「伝統的な図書館を超える図書館活動  
ー学修支援の実際ー」プログラム』をご参照ください。

## 7. その他

- 1) 参加費は無料ですが、参加に要する旅費等は、参加者の所属する大学等の負担となります。なお、情報交換会の会費は 5,000 円を予定しています。
- 2) 参加可能な場合の通知はいたしません。希望者多数の場合、参加不可の方に対してのみ連絡いたします。
- 3) アクセス

筑波大学東京キャンパス文京校舎

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

交通アクセス：[http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo\\_access.htm](http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.htm)

キャンパスマップ：[http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo\\_campus.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_campus.html)

茗溪会館

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-5-23

株式会社 茗溪サービス TEL:03-3943-0321 FAX:03-3943-0815

地下鉄 丸ノ内線 茗荷谷駅下車 徒歩 2 分

<http://tabelog.com/tokyo/A1323/A132302/13029783/dtlmap/>